

「区民の声」の概要

(令和2年度 広聴事業)

令和4年 3月

墨田区企画経営室広報広聴担当

《趣旨》

この概要は、令和2年度に区民の方々から寄せられた意見、提案等の一部を、行政課題に沿って一定のキーワードで整理、分類したものです。

なお、プライバシーに関するものや、個人を特定できるもの等については一定の配慮のうえ掲載しています。

本書でいう「区民の意見、提案等」とは、広報広聴担当が所管する広聴活動として処理した次のものをいいます。

- ・ 広聴カードにより処理した意見、提案等（広聴はがき、封書、電話、メール、来訪、ファクシミリ等による通報）
- ・ 各種団体などからの請願・陳情等
- ・ 令和2年度に実施した「第26回住民意識調査」に寄せられた自由意見・提案等

本書では、寄せられた意見等を次のように表記しています。

《例》 防災の非常持ち出し品を区民に配布してほしい。（手 33）

1 2 3

1：意見、提案等の要旨

2：その意見等が寄せられた広聴事業

手・・・広聴カード

陳・・・請願・陳情

住・・・住民意識調査

3：受付番号（手・陳のみ）

目 次

「すみだ」らしさの息づくまちをつくる	
1 文化観光	1
地域で快適に暮らせる「すみだ」をつくる	
2 まちづくり	2
(1) 都市計画	
(2) 建築行政、住宅	
(3) 区内循環バス、その他交通機関	
3 土木	4
(1) 道路	
(2) 公園	
(3) 河川	
(4) 自転車	
新しい事業が起き、人が集まる「すみだ」をつくる	
4 産業経済	6
安心して暮らせる「すみだ」をつくる	
5 危機管理	7
(1) 防災	
(2) 防犯	
6 福祉	11
(1) 福祉全般	
(2) 子育て支援	
(3) 心身障害者福祉	
(4) 高齢者福祉・介護福祉	
7 保健衛生	15
(1) 対人保健活動	
(2) 動物の愛護と管理	
8 環境	17
(1) 公害・環境問題	
(2) 清掃・リサイクル	
(3) 喫煙マナー	
9 教育	19
区民と区が協働で「すみだ」をつくる	
10 スポーツ振興・生涯学習	20

1 1	区政推進	20
	(1) 広報広聴	
	(2) 行財政改革	
	(3) 人権同和・男女共同参画	
1 2	身近な区民サービス	22
	そ の 他	
1 3	職員の接遇等	23
1 4	区民施設	24
1 5	その他	24

[資料編]

1	区民の声の傾向	26
	(1) 広聴活動別件数	
	(2) ご意見(広聴カードA)の内容の大分類別件数	
2	広聴活動の概要	27
	(1) 区長への手紙	
	(2) 請願・陳情	
	(3) 中学生区議会	
	(4) 住民意識調査	
	(5) 区民相談	
	(6) ホームページ	

「すみだ」らしさの息づくまちをつくる

1 文化観光

今年成人を迎える子どもがいるが、成人を祝うつどいの中止を聞き、とてもショックを受けた。緊急事態宣言の発令を受けての事だと思うが、感染症対策を万全にし、開催しているところもあるので、もっと子どもたちに寄り添った判断をしてほしかった。(手120)

墨田の特徴ある観光地としてのポテンシャルをもつ「花街文化を活かした向島地域」や「相撲のまち両国」などに対し、ハード・ソフト両面での整備を進めてもらいたい。(陳6)

よりインパクトのあるシティセールスを行うために墨田区のイメージモチーフとして、あらゆる場面で徹底して「北斎」を活用してもらいたい。(陳6)

シティセールスの方法として、区民や国内外の来訪客に墨田区のおすすめ情報を区内の様々な主体が共通ハッシュタグを利用してSNSでの発信を促す活動を、行政としても支援してもらいたい。(陳6)

墨田区には両国国技館やスカイツリーという観光資源があり、都心からも近いのでより多くの方に来てもらえる様もっとアピールした方が良いと思う。他区と川に囲まれた地形の活用法(例えば船)も考えてもらえたら良いと思う。(住)

歴史ある墨田区をもっと広報してほしい。どんなものがあるか知らない。プロのオーケストラの拠点があるのに、広報が少なく残念。(住)

墨田区は昔から本所七不思議等色々あるので、スカイツリーだけでなく、もっと古き良き所を全面に出してほしい。(住)

もっと墨田区をPRし、他の区、全国からVISITしてもらいたい。子どもがよくTVで墨田区でドラマ撮影したんだねと言っているの、TVやドラマでロケしたマップなどがあると、若い方々や、ドラマファンの方が墨田区へ来てくれるのではないかと思う。せっかくなので、すみまる君などで巡るロケ地、などというのも楽しそう。日本のドラマは海外で結構放送されているので、多言語だと、更に浅草から観光客を呼びこめると思う。(住)

区の収入になるようなイベント、たとえば「区民まつり」があると楽しいと思う。フリーマーケット、芸能などの催し物を出す。(住)

東京ソラマチ内の「すみだまち処」を時々利用させてもらっている。区内にこんなものがあるよ、ということを手っ取り早く紹介でき、便利だ。(住)

最近、オープンした“ミズマチ”のエリア開発、公園との憩いの場のエリアは、隅田川沿いの薄暗いエリアを明るくできたと思う。また、浅草に観光に来た人を線路沿いの橋を無料で渡ることができ、墨田区に人を誘導する流れになると感じる。今は、カフェ・レストラン中心のエリアだが、墨田の伝統工芸を体験できるお店も設置できることを希望する。(住)

箱物に無駄が多い。北斎美術館は必要ない。江戸東京博物館に移すべき。(住)

地域で快適に暮らせる「すみだ」をつくる

2 まちづくり

(1) 都市計画

マンション建設が予定されている吾嬭神社参道周辺、近隣地の土地を区が購入し、吾嬭神社の歴史的文化と景観を残しつつ、地域の歴史や文化に合致した、区民や観光客に開かれた公共施設を構築してはどうか。(手63)

近くに横断歩道が設置されているため利用者も少なく、老朽化している、吾妻橋一丁目9番8号付近にある歩道橋を撤去してほしい。(陳4)

電柱の地中化を希望。電線が多く危険を感じる。(住、同様のご意見、2件)

近場で買い物ができるようなショッピング施設の充実。(住、同様のご意見、2件)

大型商業施設等が増え、近所の商店が無くなり不便さを感じる。(住)

もうすこし押上のあたりを活性化してもらいたい。東京スカイツリーだけでは人は集まらないので、あのまわりをなんとかしてもらいたい。(住)

両国駅周辺をもっと人の往来がスムーズになるように、またきれい(町の美化)になるように開発してほしい。本所警察署跡地を墨田区の複合施設をつくるなど区民のために活用してほしい。(住)

両国駅のまわりが、もっと栄えてほしいと思う。木々など、町並みをきれいにしてほしい。(住)

八広駅周辺の生活利便性が良くないため、もっと充実させて欲しい。区役所も出張所もどちらも使いづらく不便だ。(住)

曳舟駅周辺に小さい子どもがたくさんいるのに、錦糸町まで行かないと買い物ができない。子ども服等小学生未満の子どもがいる世代が生活しやすい街づくりをお願いしたい。

自分の住んでいるところは鐘ヶ淵駅徒歩圏内だが、鐘ヶ淵通りのインフラ整備に時間がかかりすぎていると感じる。長年の課題かとは思いますが、駅前の踏切も歩行者・自転車等には危ない面が多々あり、交差点の立体工事が望まれる。(住)

鐘ヶ淵通りが拡幅されるのは良いような、残念なような(昔からのとても味のある商店がどんどんなくなってしまったので)。これからの街なみ、景観についての工夫をお願いしたい。(住)

南部地域にも老若男女が集える施設を建ててほしい。以前区に要望を出したが南部は土地代が高いので難しいとの回答があった。しかし、南部にも住民はいるため、もう一度要望として記したい。(住)

台東区から引っ越して来て、緑が多く人柄も良く住みやすい。商店街がシャッターになっていて残念。ものづくりのアピール度が低く、蔵前のように活性化した方が良い。(住)

再開発が進んでいるが、古い建物はできるだけ残し、墨田区ならではの景観は残してほしい。水辺のうるおい空間の整備が進みつつあり、水辺空間の復活の感は大きいものの、昔一度河川に背を向けた兩岸の町屋が多く残され、水辺を取り入れた街並みをどのように取り戻していくか、墨田の骨格を担う、水の軸と水辺のまちづくりを期待したい。(住)

スカイツリーができ、区内の人の動きが変化し活気づいた気がするが、一方、以前の町はシャッターのおりた店が目立つようになった。学校跡地に大学の施設が生まれ、人の動きを期待している。古い産業(ガラス切子、革製品、染物)を大切に生かしながら交通の便を利用した若

い人の集まる墨田の町になってほしいと思っている。(住)

墨田区内の貧富の差がすさまじいと感じる。スカイツリーや錦糸町周辺が栄えることに何の問題もないが、老朽化していく建物や住宅を無視していい理由にはならない。同じ墨田区で同じ額の税金を納めている以上同じ安全性で暮らせるよう整備する必要がある。(住)

東武鉄道と連携して進めている「東京ミズマチ」への取り組みは、個人的にとっても好感がある。すでに何度もミズマチのウエストゾーンは歩いたが、すごく気持ちが良い。もっと素敵な街に発展する様、応援している。墨田区大好きだ。(住)

防災・防火対策として、道路拡張や土地計画を策定されているが、地域住民との交渉が下手だと思う。短期的な民間コンサルではなく、長期的なプランを住民に提示できるような計画を立てられるスタッフを揃えてもらいたい。(住)

(2) 建築行政・住宅

墨田区は大変住みやすく愛着を持っていたが、賃料が高いため、区外への引っ越しなども検討していた。しかし助成金のおかげで区内の引っ越しをスムーズに実現することができた。このような子育て世帯への補助は大変ありがたく、感謝している。(手118)

住宅に関しては低家賃で借りられる区民住宅の充実をお願いしたい。こういう事が充実すれば若い家庭も住み易くなると思う。(住)

年金でも借りられる住宅。ヤングファミリーから都営住宅に申し込んでも落選(50回)。民間住宅は高齢者に貸す物件が少なく住み続けるのに大変だ。墨田に40年以上住んでいるが住宅がなく、区外に行ってしまう方達もいる。生涯住み続けられる優良住宅を提供してほしいと切に願っている。(住)

東向島5丁目に建設が計画されている集合住宅について、計画に関する説明会が先日開催されたが、建築主側の対応や説明内容に不足があると考えられるので、建設計画の建築確認申請の差し戻しを要望する。(陳12)

危険なブロック塀の撤去の助成制度の復活と対象拡大をしてほしい。(陳19)

自治体が発注する公共工事や公共調達、業務委託・指定管理者制度の事業に従事する労働者について、適正な労働環境と賃金・労働条件が確保できるよう、入札制度の改善を進めること。(陳20)

スカイツリー周辺の建物(マンション)の高さの制限など気になる。今まで見えていたツリーが見えなくなるのは、悲しい。(住)

空家対策をお願いしたい。(裏の長家があき家)家がボロボロで強風のたびにこわい思いをしている。アンテナは倒れそうだし、ネズミ、ハクビシンが住みついでいて、こわい。役所に1度相談したが、対応してもらえなかった。(住)

空家対策、ゴミ屋敷対策を希望する。(住)

(3) 区内循環バス、その他交通機関

区内循環バスをよく利用するが、往路だけでなく、復路も運行してくれるとありがたい。(陳21、住、同様のご意見、5件)

100円バスは、とても便利で利用している。(住)

区内循環バスの路線を拡大してほしい。(住)

子どもたちの検診で保健センターに行くが、近くにバス停がないのが不便だ。(住)

最終バスの時刻が早過ぎるのでもう少し遅くしてほしい。(住)

東武亀戸線小村井駅において、2番線ホーム側にも改札をつくってもらいたい。(住)

とうきょうスカイツリー駅付近の立体化事業の安全かつ早期完成を、一区民・鉄道利用者として願っている。(住)

水上交通への参画をしてほしい。(住)

3 土木

(1) 道路

区内に駐車場を借りており、毎年この時期になると区が植えている花が伸び、車に接触するため、毎年区に連絡して伐採をしてもらっているが、なぜ毎年わざわざ連絡を入れなければならないのか。花を抜いてほしいわけではなく、適切な管理をお願いしたい。(手61)

住居等の生垣から植木等が伐採されず、道路側にはみ出ている住宅が大変多いので指導か伐採を依頼してほしい。(住)

小梅通りの車道を狭める決定を下したことに大変怒っている。歩道は今でも電動車いすが走行できるくらい十分な道幅なのに、さらに広くする必要があるので。(手128)

人・車の飛び出しに気づきづらいところがあるので、事故防止の観点からカーブミラーを増やしてほしい。(陳21)

カーブミラーの設置を希望する。場所は向島5-28-13のタバコ自販機の所。一方通行の道から出る時、国道6号側から来る車、人が全く見えない。よく使用する道路なので、いつも危険だと感じている。(住)

都道463号(清澄通り)石原一丁目交差点先、高速駒形入口交差点先のそばにあるパーキングメーター式駐車スペースがあるため、交差点内で路線バスが車線変更を余儀なくされ、事故を誘発させる可能性があるため、撤去すること。(陳24)

タワービュー通りは業平公園前に移すべき。業平小学校前では、錦糸町駅北口から直線ではない。(住)

以前よりも歩道と車道の段差がなくなりバリアフリー化してきているが、まだ歩道と車道の段差がある所が多いので早く整備してほしい。(住、同様のご意見、1件)

自分の家の前の道路が継ぎ接ぎだらけで、雨の日には大きな水たまりができる。こんなひどい道路はそうそうない。これでも東京なのか。(住)

狭くて歩道のない道が多いので、しっかりと区画整理をしてほしい。(住)

道がせまく、その割に交通量が多いので、車でも自転車でも運転しづらい。(住)

道が危ない所がよく見受けられる。横断歩道で一時停止しない車が多かったり、路駐が多く視界が悪かったりする。(住)

家の近くの道路に電柱が飛び出していて通れない道がある。(住)

近所の横断歩道に信号機がない。高齢者が多い地域なので、横断歩道にはしっかりと信号機をつけて、安心安全な町づくりをしてほしい。(住)

錦糸町駅北口、トリフォニーホール・アルカセントラル前の歩道について。敷石の割れや、すき間が歩行者のつまずき転倒の原因となっている。早急に改善してほしい。(住)

最近街路樹のスペースに植えられていた植物を全部撤去した上で、コンクリートで覆っている状況がある。それらの植物は法に基づかないものであったかもしれないが、コンクリート舗装したことにより明らかに景観が損なわれ、空いたスペースにゴミが放置されるなど、どのような目的でなされたのか。無駄な施策に金を使い区民の理解が得られると考えているのか、猛省してほしい。(住)

(2) 公園

隅田公園で休日にテントを張っている人がいるから、公園利用の分かりやすいルールを示してほしい。警備は何も分からない委託ではなく、区の職員が常駐するべきだ。(手96)

隅田公園に新たにできる広場に「そよ風ひろば」という名称を付けてもらいたい。(陳1)

特色のある公園整備ということで整備が進められているそうだが、健康遊具は特別な遊具ではなく、標準的な遊具として扱ってほしい。(陳21)

公園で球技ができないので、子ども達はゲームをしている。キャッチボールができる場所などを作ってほしい。(住、同様のご意見、3件)

八広公園に設置してあるようなバスケットボールなどのボール競技ができる設備がほしい。(住)

子どもがボール等を使用できる公園等を提案しても必ず却下されると聞いている。緑の豊かさやご年配、幼児が安心してすごせる場所は確かに必要だが、子どもが自由にボールを使用できる場所がないのはなぜなのか。時間帯を決め活用はできると思う。学校の校庭解放は毎日ないので、“子どもの遊び場”の減少は大人の都合であり、提供するのも大人の義務だと思う。(住) 大規模な公園を作ってほしい。(住、同様のご意見、1件)

公園をもっと綺麗にしてほしい。(住)

あちこちの公園が綺麗になり明るくなったので良かった。(住)

公園が整備されていると感じる。今後も続けて欲しい。(住)

近年行われている公園の改修事業に、家族は喜んでいる。ミズマチ周辺も整備され、暗いイメージが払拭できれば、子ども達を安心して遊ばせられるようになると思う。公衆トイレや隅田川沿いの遊歩道をもう少し管理すると、尚よい。(住)

隅田公園が整備されてとても明るくなった。夜のことが心配だが、何事もないことを願う。(住、同様のご意見、1件)

隅田公園がきれいになったのはよいが、喫煙コーナー以外で喫煙する人が、いつも、何人もいる。おそらく、何も言われないのでかまわないと思っているだろうが、非常に不快。また、芝生の養生に力を入れすぎで、春から初夏の長い間立入禁止となっている。日本は過剰に芝生の養生をしているという意見を聞いたことがある。一度区職員のみなさんで話し合ってください。(住)

隅田公園の北側の土部分が、雨が降ると泥で歩けなくなる為、整備して欲しい。(住)

区の公園にある土のうボックスを子どもがいたずらするので改善して欲しい。(住)

(3) 河川

コロナの影響なのか、施設を借りられず土手中段で習い事をしているようで、夜遅い時間に騒がしく迷惑なので、見回り等をしてもらえたらと思う。(住)

数ヶ月に一度土手中段の草刈りをしてもらっているが、事前に連絡がないので洗濯物に影響が出る(草が飛散しているため)。事前に連絡してもらえると助かる。(住)

橋のライトアップが凝っていて面白いと思う。隅田川沿いの釣りスポットを増やして欲しい。(住)

隅田川テラスに雨や日差しをしのぐ物を造って欲しい。(住)

スカイツリー横の川は観光地の箇所だけでも浄化できないか。昔のすみだ川の悪臭がなくなり、区政のみなさんの努力には感謝しているが、あと一踏ん張りし、美しい「すみだ」を作ってほしい。(住)

平井橋を架け替えてほしい。歩道も車道も狭く、危険を感じる。(住)

(4) 自転車

駅周辺の駐輪場を増設してほしい。(住、同様のご意見、3件)

駅周辺の自転車置場が少なく、すぐ埋まってしまう。シルバーによる撤去が早すぎて、値段5000円は、高すぎる。そんなに高い値段とるなら、置場を増やしてほしい。撤去が早く、料金が高いのは、区民皆が思っていることだ。(住)

区営の駐輪場申し込みの応募方法、抽選法など不便でなおかつ利用者のことを考えていないお役所仕事だ。毎年改善策をお願いしているが、全く反映されない。(住)

交通の便は良いので満足しているが、自転車のマナーがとても酷い。前後確認せずに道路を横断する人が多く、よく事故に合わないな、と驚いている。(住、同様のご意見、3件)

自転車に乗る人のスピードが早い為何度かぶつかりそうになった。曲がり角等の十分に視野を認識できない場所でも、スピードをゆるめることがない人が多いと思う。高齢者、小さな子ども達、墨田区内のみんなが安心して歩行できるよう、対策を立ててほしい。自転車も“くるま”であり、“左側走行”であることを知らない点も悲しい。一方通行が多い所に住んでいるが、むりやり走行が目立つ。対応をお願いしたい。(住)

自転車用レーンに駐車する車を何とかして欲しい。(住)

レンタサイクルの充実など対応を早くして欲しい。(住、同様のご意見、1件)

新しい事業が起き、人が集まる「すみだ」をつくる

4 産業経済

他の自治体で実施しているようなプレミアム商品券の販売を墨田区でも実施してほしい。(手105)

墨田区商店街連合会ホームページのPayPayキャッシュレスキャンペーン対象店舗一覧に記載されている飲食店で PayPay で決済を行おうとしたところ、利用できないと言われた。

PayPayの利用ができない店舗を対象店舗一覧に掲載するのは虚偽に当たるのではないか。(手107)

公衆浴場衛生設備等改善資金助成金の補助対象に過去3年の工事及び修理費用と浴場外観およびサウナ設備費用を加えてほしい。(陳5)

特に厳しい状況に置かれている飲食・小売・宿泊業等に関する新たな試みへの支援をしてもらいたい。(陳6)

脱現金によるレジ業務の効率化や防犯対策、緊急事態にも有効に作用するキャッシュレス決済への対応支援をさらに強化してほしい。(陳6)

区庁舎の一部や各出張所などに、履物靴工労働センター(窓口・コーナー等)を設置し、履物靴工労働者らの総合相談や仕事の斡旋・情報の提供等行ってほしい。(陳22)

倒産時等の緊急つなぎ融資制度を設置してほしい。(陳22)

大手スーパーや移動販売のスーパーに頼るのではなく、個人商店や商店街の縮小で買い物弱者を生み出している地域に「墨田区内の商店街」を届ける試みをしてもらいたい。(陳22)

ものづくりの街ならではの子どもともものづくりを通した取り組み。(住)

コロナウイルスで売上が落ちている中小企業の補助を最大限に行ってもらいたい。今はコロナウイルス対策を一番にするべきだ。(住)

墨田区は歴史ある文化事業がたくさんある。小さな会社が多いが、ぜひ残して欲しい。(住)

伝統工芸品はすばらしく、スカイツリーや神社などで、気軽に購入できればいいと思う。(住)

伝統品、区内生産品をもっと他商の出来る様に区としてバックアップをするべき。結果として、区の収益拡大策につながると思われる。(住)

調査票からもうかがえるが、自分も歴史ある区の伝統文化工芸職人技を現在生活に生かせる産業を支援し発信する。(住)

商店が無くなった為に夜間は暗く、物騒な上に路上にゴミが散乱して汚く殺風景だ。以前なら商店主が自分の店の前は毎日掃除していたが、今はそうした事をする人が居なくなったので、商店街から活気が無くなってしまった。(住)

安心して暮らせる「すみだ」をつくる

5 危機管理

(1) 防災

墨田区内における新型コロナウイルスの感染者について区に問い合わせたところ、詳細不明とのことだった。今後の感染拡大を鑑み、情報公開範囲や問い合わせに対する対応方法を定め、しっかりと準備してほしい。(手6)

区内保育園から新型コロナウイルス感染者が出たことが区ホームページに掲載されているが、1名の感染者だけなのに詳細な情報が公開され、感染者が風評被害に遭ってしまうことが懸念される。どのような基準で情報を開示したのか教えてほしい。(手15)

区立小学校が再開されるが、学校での給食に不安がある。会話をしながら昼食をとることで、唾が飛ぶため、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される。4月中は給食を出さないでほしい。(手4)

学校休校が延長される中、始業式、入学式、幼稚園の入園式をなぜこの状態で行うのか。延期をしてほしい。(手13、5、12、14)

区内の保育園で保育士として働いている。緊急事態宣言を受け保育園は原則休園となったが、やむを得ない事情のある家庭の子どもには登園を許可しているため、保育士は通常勤務だ。子どもの登園数は減ったが、保育士の感染リスクは高いと感じる。保育園の完全休園をお願いしたい。(手21)

4月13日より、区内保育園を休園としてもらい、感謝している。現在、休園期間は5月6日までとなっているが、新型コロナウイルス感染症が完全に収束するまで期間を延長してほしい。また、休園期間を延長するのであれば、早めに周知をしてほしい。(手40)

新型コロナウイルス感染対策により保育園は登園自粛となっているため、園児はいないが、保育士は毎日出勤している。現状、子どものいる保育士に対する補償や措置がないため、有休を使って何とか子育てをしていると聞いた。子どもを持つ保育士に対して補償や特例を設けたりするなどして、就労環境を守ってほしい。(手31)

新型コロナウイルス感染症対策として、区内の保育園が原則休園となっているのに伴い、認可保育園では補助減免措置がとられているが、なぜ認可外保育園では適用されないのか。認可・認可外に関わらず、一律で減免措置を執っている区もあるので、墨田区でも認可外保育園であっても、減免措置や日割り計算を行ってほしい。(手39)

マイナンバーカードを受け取るため区役所に行ったが、1階が非常に混雑しており、感染リスクを考え帰宅した。感染対策がさしてされておらず、区民だけでなく職員にも感染する危険が及んでしまうので、整理番号の発券機を外に設置するなどして入場の制限管理をしてほしい。(手35)

緊急事態宣言が発令されており、三密状態になりやすい駅前広場の喫煙所を一時閉鎖してもらいたい。(手29、33)

墨田区が既に医療用テントでPCR検査を始めていることを知った。今回の素早い検査テント設置には驚きとともに、安堵感と信頼感を持ち、感謝している。(手30、住)

コロナで外出禁止が要請されている中、区内の大きな公園には多くの人が出ている。公園を閉鎖してもらいたい。(手27、34)

ステイ・ホームが叫ばれている中、公園は多くの人でにぎわっている。区長自ら声かけを行う等、より一層の自粛を促すべきではないか。(手49、37)

今年も総合防災訓練が実施されると聞いたが、こんな状況の中、大規模なイベントを実施すべきではない。そのような時間があるのであれば、台風対策に費やすべきではないか。区民の命を最優先に区政運営を行ってほしい。(手79)

何年も前から空き家になっている隣の家が老朽化して危険なのでどうにかしてほしい。(手109)

重度障害者はおむつ交換や痰の吸引等の処置が必要なことから一般の避難所で避難生活をするのが極めて困難なため、プライバシーが守れる福祉避難所を設置してもらいたい。(陳10)

災害に強い安心・安全なまちづくり促進のため、墨田区、地元建設業者・建設労働組合による連携と協働を図る懇談や協議の場を設置してほしい。(陳19)

水害から区民の命や財産を守り、生活や事業継続の原状回復を早めるための止水板(防水版)設置の助成制度創設をしてほしい。(陳19)

避難所運営のマニュアル作成の際、地域住民や避難者の意見として懇談の場を設けてほしい。(陳19)

昨年(2019年)に発生した台風19号の際、浸水被害の恐れがあるにもかかわらず避難場所が1階だったのは、なぜか。(陳21)

災害時、防災ラジオの支給を検討してほしい。(陳21)

ハザードマップを全ての住民に配布し、かつ、周知に取り組むこと。(陳24、住)

災害時の避難所として応急給水場等があるが、その施設が地域住民に伝わるよう、周知徹底すること。また、避難所としての機能が備わっているかの再点検も行うこと。(陳24)

物資の感染症関係の備蓄(消毒液・マスク等)強化に取り組み、足りないものに関しては早急に対応すること。(陳24)

防災無線が聞き取れない。改善をしてほしい。(陳19、住、同様のご意見、11件)

災害時のスマホへのメッセージ等、避難、警報アナウンスが遅く、自分で情報収集した。早めのアナウンスがあると助かる。(住)

水害(洪水)対策を重点的に進めてもらいたい。(住、同様のご意見、3件)

墨田区に住む前から、墨田区が水害の心配をかかえていることを強く感じていたが、実際に住んで一度、川の氾濫が心配される大雨が降った時、玄関の下もほとんど浸水せず、安心した。その時、川を氾濫させない対策がきちんとされているのだろうと初めて実感した。やはり色々な災害が起きる中不安は0にはならないが、今後も対策をお願いしたい。(住)

最近、ゲリラ豪雨や大雨が多く川の氾濫が心配だ。スマホでも情報発信や地域で行っている防災用ラジオの提供とかあると良い。墨田区内であった事もホームページや、メール等でどんどん情報発信してほしい。(住)

以前、台風が酷かったときに墨田区のホームページでもツイッターでも情報発信が非常に遅かった。せめてツイッターではリアルタイムな発信を行ってほしい。(住)

荒川の氾濫の可能性あるときの水位についてや、避難場所についての情報発信が不十分であることに不安を持っている。昨年の9月のようなことのないように(区からの情報不足)。今後くるかもしれない水害に対する危機感を持って情報発信をしてほしい。(住)

去年の台風の時に思ったが、インターネット等で最新の情報を得たくとも、アクセスが集中して繋がらなくなってしまい、いざという時に全く役に立たなかった。とても重要なことなので回線等をしっかりしてほしい。また、最新情報がどこで更新されているのかが分からなかった。一般的に災害に強いといわれるツイッターが全く活用されていなかったのは覚えている。複数のツールをしっかりと活用して情報発信して欲しい。(住、同様のご意見、1件)

台風19号によって浸水被害が発生するかもしれないという際に中々区内放送がかからず不安だった。同様に被害が予想される地域は早めに避難指示のようなものが出ていた分不安になった。区の公式ツイッターで情報が発信されているかもとSNSをみたが参考になったのは公式アカウントではなく1人の議員のアカウントだったことが強く印象に残っている。墨田区は高

齢者が多く、SNSをあまり重視する必要はないのかもしれないが、それをみた若者、中高年が高齢者に伝えるということも期待できるので、余力があればSNSでの情報発信（特に非常時）にも力を入れてほしい。非常時のSNS対応は難しいとは思いますが、過剰に避難をうながしても人の命が失われるよりはましなので、批判に負けずに取り込んでほしい。地域や住環境（防音ばっちりなど）によっては、区内放送は聞こえにくいことも考慮してほしい。（住）

昨年10月の台風の際情報が遅い。墨田区は海拔0m地帯かつ、高齢者が多く住んでいる地域であることから早めの避難準備等の呼びかけをするべきだ。（住、同様のご意見、1件）

避難所を、緊急の場合、近くの体育館とか児童会館等、もっと柔軟性を持たせておくべきだ。（住）

災害時の避難所の生活の質を向上させる施策が必要だと思う。地域のホテル等の宿泊施設との連携や、長期滞在可能な仮施設が必須となるだろう。（住）

コロナ禍の災害時の避難場所について、現在指定されている避難所は避難スペースの点で収容に無理がある。分散避難は出来るのか。（住）

水害等避難場所が必要なのではないかと。（住）

河川の氾濫に備えて都営の空き部屋や高層マンションの貸り上げなど避難場所の確保をして欲しい。昨年は区役所の上に沢山の人が殺到した為分散避難の場所を考えて欲しい。（住）

昨年川の水位があがり、避難所が近所の中学校で開設されていたが、一階の体育館だったので、実際に荒川等氾濫してしまった場合はすぐに水に飲み込まれてしまう場所なのではないかと不安だった。水害も想定した避難所とするには、せめて中学校であれば最上階とするなど、対策が必要かと思う。そういった、実際のシミュレーション等の情報も、公開してもらいたい。（住）

隅田川の氾濫がとても心配。防潮対策や大雨による堤防の決壊対策を隣接区や都とともに対策をしてほしい。隅田川テラスをよく散歩するが、大潮時などには歩道に川の水があふれ、魚などが戻れなくなっている様子を見かける。（住）

住居が0m地帯以下なので大雨対策をどの様にしているか住民が安心していただける様に明確にしてもらいたい。数年前に自宅前が川のような状態になるのを目の当りにしてしまっ以来雨が降る度に不安でならない。その時の対策なども詳しくおしえて欲しい。（住）

水害に対する意識や火災に対する意識は土地柄とても高いように感じているが、耐震化に向けての取り組みが少し弱気に見える。（住）

防災について、台風、集中豪雨の多くなっている現在、土のう等の格納場所が少ない。というかあまりに遠くで取りに行けない。（住）

洪水や火災など、地区毎のリスクを地図で表現する情報が、点在しているように感じる。区のホームページで、1カ所のページで横断的に見られるようにして欲しい。（住）

土地柄、避難場所や行動規範などの防災関連の情報をもっと得られると嬉しい。（住）

墨田区の最大かつ緊急の課題は防災だと思うので、最重点課題として取り組んでもらいたい。（住、同様のご意見、3件）

墨田区は災害に弱い地区でもあるので、安心して暮らせるような町づくりをしてほしい。（住、同様のご意見、1件）

災害時、どこへ避難すべきか、食料・飲料が手に入るのかなど、災害時での情報を積極的に発

信してほしい。ホームページなどネット上のものは災害時には使用できない事もある為、紙媒体でお願いしたい。(住)

墨田区単独でなく、災害リスクの高い江東地区全体として共有される大規模災害(震災、水害)への対応施策、災害に強いまちづくりの展開とその情報の発信が重要。例えば墨田区でだめでも隣の区では受け入れ可能等の情報・災害時の知恵。震災と水害を区別した避難行動等の周知徹底。混同している人が多いのではないか。長年の懸案である向島地区の木造密集地域での基盤整備が遅々としており大変懸念される。住民参加型でどのように乗り切ろうとしているのか、対応策はあるのか見えない。(住)

災害(水害、地震)時の避難方法について、もっと具体的な情報がほしい。自分が参加するだけでなく、区民の参加を増やすためにも災害訓練を毎年行ってほしい。(住)

「10年プロジェクト不燃化促進助成事業」のプロジェクトを数年延長して対象エリアの道幅をもう少し広げて安全な交通に力を入れてほしい。京島、東向島あたりの道幅がもう少し広くなれば安心だ。(住)

以前大地震が来たら墨田区内は道が狭い、木造住宅が多い、高齢者が多いという理由から危険な町というレッテルを貼られた事、自然災害が多い世の中になってきているので防災に関する意識を区全体で高められるように自分自身も思っている。何かと文句や批判が飛び交って本来の問題が薄れないようにしてもらいたいし、『墨田良いとこみんなの町よ』、長くこうあってもらいたい。(住)

(2) 防犯

緊急事態時には人通りが少なくなっていることから、防犯対策の一環として、主要道路における街灯の照度を上げてもらいたい。(陳6)

錦糸町駅南口の治安を改善するべき。(住、同様のご意見、1件)

錦糸町は駅前がにぎやかなのでよく行くが、ダービー通り等の南口の治安が悪いので、歩いていて恐怖を感じる。キャッチの取り締り強化やパトロールをお願いしたい。(住)

公園の近くに住んでいるが、夜間若者が騒いでいて迷惑している。夜間パトロールなど実施してほしい。(住)

自転車のサドルカバーや自転車のライト、電池だけ盗まれたり、入店して1分のコンビニで傘を盗まれたり、小さな事かもしれないが、とてもがっかりしている。安全・防犯・災害対策で、もっと住みやすい区になると思う。(住)

夜道、日中問わずひとりで歩いていると不審な男性に話しかけられることがある。防犯パトロールやカメラの設置があると安心だ。「女性ひとりでも安心して歩けます。」と胸をはって言える町づくりをお願いしたい。(住)

6 福祉

(1) 福祉全般

品川区では特別定額給付金以外に区民に3万円支給するとのことだが、墨田区では同様の対応をしないのか。(手64、65、67、69、住、同様のご意見2件)

隅田川沿いにホームレスの方が多いことが気になる。区の方が声掛け、サポートを行い、誰もが健やかに生きていけるようにしてほしい。(住、同様のご意見、1件)

新型コロナによる生活困窮世帯や子育て世帯への区独自の支援策の検討をしてほしい。(陳19)

生活保護利用者の熱中症対策として夏季加算を新設してほしい。(陳21)

保護費の決定通知が分かりづらいので、生活保護利用者にもよく理解できるよう書式を改善し、内訳等も明記してほしい。(陳21)

高齢者と子育て世代、そして子どもと多世代が共生し活性化する区にしてほしい。(住)

母子家庭に対して救済のための情報開示の徹底。「どこに相談してよいかわからない」という状況をなくしてほしいと切に願う。(住)

コロナの給付金に感謝している。小さくない助けになった。厳しい時勢だが、区民に寄り添った区政を期待している。(住)

特別定額給付金の給付が他区に比べ遅かった。区の行動力に疑問を感じた。区民ひとりひとりの生活を考えてほしい。「ものづくりすみだ」のマスクより正直給付金の方が助かる区民がたくさんいたと思う。(住)

確定給付金の際は、期間限定で申請書のDLがどこよりも早くできたが、結果給付されるまで1ヶ月かかった。早いところは早いですが、そういった肝心な事がもっと早く対応できるようにしてもらえたらいいと思う。難しいご時世だが、たくさんの方が安心できるようになってほしい。(住)

給付金の申請受領と送金日の通知が送金されたいがたってから届いた。件数が多く忙しいとは思っているのだが、書類が無事不備なく処理されているかだけでも事前に知りたかった。(住)

(2) 子育て支援

都外の認可外保育施設に子どもを通わせているが、新型コロナウイルス感染症の影響により休園期間中の保育料について、区に助成を受けられないか問合せたところ、「認可外であること」「都外の施設であること」等の理由により助成は受けられないとのことだった。コロナの問題と上記の理由は関係があるのか、一律での助成金の給付をお願いしたい。(手68)

東京都が新年度から出産・育児支援の環境を整えようとしていることは知っている。本年4月以降出産が対象になるようだが、前年度も含め、子どもが1歳になるまでの期間も対象にしてほしい。また、墨田区独自の補助制度を充実させてほしい。(手130)

今年度中に出産を予定している。葛飾区や荒川区では、新生児を対象とした特別給付金の支給を決定したとのことだが、墨田区でも支給してもらえないか。(手131)

保育士の確保や処遇改善、園庭の整備や日当たりの確保など「保育の質」を確保するため、ガイドラインを早急に確定してほしい。(陳21)

もっと子育てしやすい支援をしてほしい。区外で働いている家庭や子育てしている家庭には正直、ものづくりをしている区だからと住みたい条件にはならない。子育て世代には、伝統、介護は二の次。もっと子育てに余裕ができて少しでも楽になってから考えられる事だと思う。(住)

子どもを産み育てやすい環境。経済的な負担を少なくしてほしい。(住)

墨田区は高齢者や障害者に対する福祉は厚くしているように感じ、実際に高齢者等が多いこと

から、手厚くする必要性は十分に感じる。しかし、子どもに対するものが少なく、江東区、葛飾区に比べるととても劣っており、実際に周りからも墨田区の子どもに対する支援の少なさへの不満は聞こえる。このままにすると、少子高齢化は進んでいくばかりで、人口の減少や税収は減っていくばかり。もう少し将来を見た支援、区政を願いたい。(住)

押上在住だが、最近子育て世代が多くなってきている一方で、保育園の数が著しく足りていない。結果として、それが住みづらさや人に勧めたくないといった思いにつながっている。高齢者が多いので、そちらのケアが必要なのは分かるが、今後墨田区がより発展する為にも、子育て世代へのケアをしっかりと考えて欲しい。(住)

保育園になかなか入れず、育休中だった妻は仕事を辞め、子育てを行っている。待機児童をなくしてほしい。(住)

待機児童問題の早期解決を希望する。保育園に入園を考えていても特に1歳児は倍率が高く、入園出来るかどうか不安な日々を過ごしている。認可保育園だけでなく、小規模保育所を増やすことも考えてほしい。数を増やすだけで保育の質が下がるのは心配だが、計画的に増やしていくことを考えていけば、保育の質は保障されつつ保育サービスの向上が出来るのではないかと。(住)

教育系のボランティアをしたいと思っているが、ボランティアが近くになく参加しづらい。区民の力を借りて子どもが幸せに過ごすことの出来るまちづくり・仕組化が必要だと考える。(住)

墨田区内で預けられる病児保育が墨東病院しかないのも、もう少し増やせないか。一応、「はぐ」や「ファミサポ」など登録しているが、すぐ対応できない場合もあるかもしれないし、自宅で見ってもらうことに抵抗がある人は、やはり病児保育室を利用したいと思う。(住)

子どもが保育園を利用しているが、年々待機児童は減っていてとてもありがたい。ただ近隣の区と比べると子育て環境・学習環境に柔軟性が乏しいと感じる。コロナ禍においてより柔軟に色々な分野で対応頂けると、今後も長く住み続けていきたいと、より思えるかなと感じる。(住) 児童館の乳幼児事業は、毎週参加していたが、コロナで無くなってしまい、親同士のつながりや交流をもてる機会がほとんどなくなってしまった。自分自身は子どもが保育園に行けることになり、助かったが、自宅育児をしている方々は、孤育てになってしまっているのではとの心配もある。このような状況下でも、子育て中の親同士が、できれば気軽に交流をもてる機会があればいい。(住)

日祝の保育はしてくれるが、就学したとたんこういうサービスがなくなる。ひとり親なので子が就学したら今の仕事をやめなければ子を見てくれる人がいない。(住)

何年も前だが、区内の保育園に子どもを通園させていた際、初めての子育てなのに保育園の先生達がとても不親切で驚いた。保育園の運営のしおりと実際、通園させて見た時の印象が違っていると感じる事が多く、今後子育てをして行く上で今以上に情報を徹底してもらいたい。(住)

保育料無償化の運営に感謝している。私立幼稚園の施設使用料などの申請方法も、幼稚園 家庭 墨田区ではなく、幼稚園 墨田区で行ってもらえると助かる。分かりづらく期限も短いため申請がしづらい。江東区では幼稚園 江東区で行っているのだから、隣接した区で同じようにしてもらえると幼稚園もまちがいがいいと思う。(住)

墨田区独自の子育て・教育に対しての支援等が少なすぎる。学童が実質2年生迄しか入れない

のはおかしい。保育所の数が増えているのは分かるが、学童も整備してもらわないと共働きが
むずかしくなる。早急に対応してもらいたい。19:00 迄は預かってほしい。(住)

自分は3つ子(10ヶ月)の母だが、よく世田谷区の子育て支援について色々な話を耳にする。
ベビーシッターの割引券など、色々な子どもに関する支援が沢山あると聞いた。保育サービ
ス等ある様だが、実際わざわざどこかへ出向いて予約をとってなど、電話を掛ける時間を取る
事も大変な時もあるのに、2・3時間の為にやる事が多すぎて利用する気になれない。もっと
簡単に支援できる割引(世田谷区の様)や事柄を増やして欲しい。子どもの頃から住んでい
る街なので愛着があり離れたくはないが、やはりそういった話を方々から聞くと次に引越す
時にはそういった支援の多い所が良いかなと思う事が増えた。(住)

(3) 心身障害者福祉

墨田区障害者団体連合会に対し、これからも継続性のある全体統括者等の人的な支援、また、
財政的な支援について、従来通りお願いしたい。(陳10)

墨田区が認定する「墨田区登録手話通訳者」は手話通訳者として自立できる生活の保障がない
ので、手話通訳に専念できるよう身分保障をしてほしい。(陳10)

1人でも多く手話通訳者を養成するため、手話通訳者養成講座の夜クラスを新設してほしい。
(陳10)

心障児者部会の会員は親子ともども高齢化が進んでおり、また、重度の障害者や医療的ケアを
必要とする障害者も増加の傾向にあるため、障害者が入所できるグループホーム及び短期入所
施設の必要性が高くなっているため、増設してほしい。(陳10)

住みなれた地域での暮らしを支援するため、所得の補償に係る助成として、精神障害者1級を
受けている人たちを対象にする心身障害者福祉手当を支給してほしい。(陳10)

肢体不自由児者通所訓練所へ財政的援助をしてほしい。(陳13)

重症心身障害児に質の高いサービスを提供するため、補助単価の増額を含め、引き続き区から
の支援継続をお願いしたい。(陳13)

障害児を預ける事の出来る施設を増やしてほしい。気管切開している子の受入れ先が少な過ぎ
る。障害児がいて仕事へ出られないので、家庭への支援がほしい。(住)

障害のある子どもがおり、将来、住みなれた地域にあるグループホームなどに入れたい。なの
で、知的・肢体両方の障害者が住める施設をつくってほしい。(住)

自分は普段、車いすを利用している。墨田区は、港区や渋谷区とは異なり、街自体に起伏がな
いので、車いすで歩きやすく、気に入っている。そのため、バリアフリーを区内外にアピール
してほしい。(住)

(4) 高齢者福祉・介護福祉

老齢化が進み、公衆浴場の廃止も多くなり、にこにこ入浴カードの必要性がなくなってきてい
るので、小さな福祉にも目を向けてほしい。(住)

令和5年10月より適格請求書等保存方式(インボイス制度)が導入される予定であり、その
影響によりシルバー人材センターに新たな税負担が生じ、事業運営ができなくなる恐れがある。
全国シルバー人材センター事業協会では国に対して税制改正要望を行うことを検討している

が、自治体関係者にもこのような課題があることを理解し、力添えをしてほしい。(陳9)
墨田区高齢者福祉総合計画・第7期介護保険事業計画と地域支援事業、区独自の介護サービスの拡充をしてほしい。(陳19)

ケアプラン・障害者向け個別支援計画の内容に災害時の対応を盛り込む福祉事業者に対してインセンティブの導入を東京都に要望してほしい。(陳19)

要支援の方のデイサービスにも入浴加算をつけてほしい。(陳21)

区内の特別養護老人ホームを増やして欲しい。(陳21)

75歳未満の方でも、一部助成など何らかの仕組みでT字杖が入手しやすくできるようにしてほしい。(陳21)

デイサービスの使用料、てすりなどの設備改善費用、電動車いすなどの利用範囲の拡大と、リース料などを安くしてほしい。(陳21)

補聴器の補助金助成の区独自の拡大と東京都の助成制度を合わせて活用できるようにしてほしい。(陳21)

高齢化が進んでいるので、高齢者が生きがいを感じる施策を更に検討してほしい。(住)

高齢者の健康診断に認知症の検査を付加義務付けしてほしい。認知症の検査は高齢者本人がみずからすすんで受ける人は少なく、家族やまわりの人が受けることをすすめても行きたがらない。しかし、義務付けしてもらえば早期発見となり医療費、介護負担の軽減につながると思う。他の地域に先がけて墨田区で実行して他の地域からのお手本になる住みやすい区にしてほしい。絶対実現してほしい。(住)

7 保健衛生

(1) 対人保健活動

最近、他区の小中学校教職員が新型コロナウイルスに感染するケースを見受ける。そこで、区内小中学校の全教職員を対象にPCR検査を実施できないか。(手78)

区役所では現在、出入り口にアルコール消毒液が置かれているだけで、職員が消毒を促すわけでも、検温をするわけでもない。一般の店舗でも、入場者に消毒・検温を義務付けて感染予防を図っているのをよく目にするが、肝心の区役所は予防対策をとらないのか。(手90)

テレビで区の新型コロナウイルス感染対策について知った。とても良いことだと思い、嬉しくなった。このように素晴らしいことを実行している区の保健関係者や職員の方には感謝している。(手115)

4人家族のうち3人がPCR検査で陽性になってしまい、自宅療養中だ。検査以降、区と保健所の職員、同愛記念病院の親切かつ丁寧な対応により家族全員が安心して生活できており、皆さんにはとても感謝している。(手121)

現在、都内のほとんどの自治体で独自の不妊治療助成が行われているが、墨田区にはなぜないのか。また、今後、実施や拡充の予定はあるのか。(手123)

ワクチンを接種する際、医師からワクチンの原材料、使用されている技術やそれらの安全性、有効性、副反応、リスク、デメリット、メリットについて説明し、書面でそれらの説明書きを渡すことを義務付けてほしい。(陳15)

低所得者に対しても肺炎球菌ワクチンを無料にしてほしい。(陳21)

健康診査やがん検診を受診しやすいように、休日、夜間に実施する医療機関があり、実施してくれる医療機関には助成をしても良いのではないか。(陳21)

区内にある無料定額診療を行っている医療機関を区としても区民に周知する行動に取り組んでもらいたい。(陳21)

医療・介護施設の収入減は大きいと聞いているので、今後、第2波、3波に対応できるように支援をしてほしい。(陳21)

区の検診制度をもっと分かり易くし、かつ充実させて欲しい。1年に1回は申請せずに区から八ガキが届き、無料で癌検診やリスク検査が受けられるようになると良い。(住)

他区から転居してきて、健康診断等の参加が能動的に動かないと情報が受け取れなかったことに驚いた。これまで居住してきた区では郵送でお知らせが届いていた。介護予防や健康対策を充実させることで住民がより健康にすごせると思う。住民の利益になる助成や健康診断等の情報は積極的に広報し、住民が自ら検索しなくても受取れるようにしてほしい。(住)

現在はやはり新型コロナウイルス感染症に関することが気になる。検査も増やしていつでも区民が受けられるようにしてほしい。そうすれば積極的に社会活動が出来るし、感染もなくなっていくのではないかと思う。(住)

コロナ対策については、保健所の方々の努力により区内でも対応が明確であり、検査態勢も整っており墨田区で良かった、安心と実感した。やはり情報を明確に表示することが大切だ。(住)

緊急事態宣言中、毎朝町内放送をしていたが、また感染者の数も増えてきたので、朝と夕の2回再実施してもらいたい。(住)

(2) 動物の愛護と管理

墨田区のお知らせ「すみだ」6月21日号6面に野良猫や地域猫に関してとても分かりやすく記載されていた。墨田区のボランティアの方々はとても積極的に活動されているので、今後、区としても里親活動への助成を図ってもらいたい。(手75)

家で犬を飼っており、ほとんど毎日散歩に出かけ、ペット連れの地域の方と交流している。そこで感じるのは、犬を飼っている方がとても多く、そしてほとんどの方がマナーを守り、散歩している。なので、ドッグランなど、犬や犬を飼っている方のための施設が増えると嬉しい。(住)

犬と暮らせる環境を求めて墨田区に引っ越して来た。親水公園、錦糸公園など散歩するのに良い場所も多く犬を飼う人同士の交流もさかんで満足している。反面、オリナスやソラマチなど大きな施設はペットが入れず散歩のついでに寄るなどできないのが残念だ。墨田区の犬の登録数は7750頭だが、ペットと暮らす人間の数を考えるとその数倍になる。カフェやショッピングセンターなど公共施設へのペットとの入場を区として推進すると生き物を大切にする町としてのイメージが強くなり、区内外の訪問者による消費も活発になるのではないか。(住)

8 環境

(1) 公害・環境問題

建築物のアスベスト除去、封じ込め、囲い込み対策への助成制度創設をしてほしい。(陳19)
災害時に避難場所となる建物の耐震補強、天井崩落によるアスベスト含有建材の飛散を防止するため、石綿除去工事などの安全対策を進めてほしい。(陳19)

区においてもアスベスト対策条例を制定し、建築物等の解体・改修工事においてレベル3の石綿含有建材に関しても事前に届け出るよう義務付けること。(陳23)

東京都が推進しているスマートエネルギー都市推進事業の実施を踏まえ、エネルギー利用の効率化・最適化、低炭素化・分散型エネルギーシステムの促進に向けて、システム普及のための助成措置など、区独自の施策に取り組むこと。(陳24)

循環型社会の形成推進に向けて、拒否(リフューズ)、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、修理(リペア)、再生利用(リサイクル)の施策を拡充すること。特に発生抑制に資する取り組みを積極的に推進すること。(陳24)

緑化は推進してほしい。(住、同様のご意見、1件)

誰も利用していないような小さな公園(横川2丁目ローソンを春日通り渡ってタワービュー沿いにある砂場だけの小さな公園)や高速道路下(向島IC近く)など、暗い雰囲気でごみもたまりがちな場所を緑や木・花で町の緑化につなげてほしい。緑や花が増えると、住民は和み、子どもは発見をし、全体的に犯罪も減るのではないか。(住)

スカイツリー景気に関する事で、以前これほどヘリコプターの騒音を感じた事はなかったが、スカイツリーを周遊する半径に住んでいる方々はその騒音に悩まされている。特に天気の良い日の朝早くから夜は7~8時頃迄飛行しているが、区は状態を把握しているのか。(住)

今後、気候変動で、水害等の災害リスクが増えることが予想されているので、気候変動問題と防災についてもっと具体的な施策を実施してほしい。例えば、気候変動については、2050年ゼロカーボンシティを目指すといった目標を表明する、気候危機宣言を行う等してほしい。(住)

(2) 清掃・リサイクル

清掃業務の技術の継承、安定的な組織体制の維持を目的とし、新卒職員の採用を図ること。(陳24)

近年、区内在住の外国人が増加していることを踏まえ、ごみ分別案内チャットボットの多言語化を図ること。(陳24)

道路歩道にごみが多い。(住、同様のご意見、1件)

ゴミの日のカラスの対策も、もっと区全体で問題としてとり上げ環境を良くして欲しい。(住)
カラスが人を襲っている話をきいたり、見たりした。網以外にも、ゴミボックスがあると良い。(住)

コロナの影響でごみの量が増加したと思うが、自分の住んでいる地域では遅滞なく収集してもらえ、とてもありがたかった。(住)

もっとリサイクルイベントなどの場所を増やし、PR活動を徹底してほしい。(住)

月2回行われているリサイクル回収がもっと近くで気軽に開催されると便利だ。(住)

古着等のイベント回収を利用しているが、近くで行われる回数が少ないので、定期的な回収シ

ステムがあると良い。粗大ごみのリサイクルとしてのユートリヤ（生涯学習センター）での家具の展示が復活すると良い。（住）

リサイクルやリユースのイベント回収では、場所が遠いと感じるので、場所の面で小学校だったり人の集まりやすい所も含めたら良いかと思う。（住）

環境・リサイクル・清掃で、回収日にだけでなく、追加回収日や場所を設置してもらえると、良いと思う。リサイクル率が向上するし環境も良くなり温暖化防止になると思う。不要になったもののリユース、リサイクルに積極的に取り組んでいることをもっとアピールしてほしい。いろいろなもののイベント回収があると今回、知った。（住）

資源回収の日、朝刊等資源を盗んでいる人が多いと感じる。資源回収は大切な地域の財源になるということ、犯罪だということ伝えるべきだ。（住）

ゴミ回収時間を朝8時までではなく、9時までにしてほしい。（住）

図書館にペットボトルキャップの回収ボックス設置を希望する。（住）

粗大ごみの持込を復活してほしい。（住、同様のご意見、1件）

粗大ごみの収集にひと月以上かかるのは遅く感じる。（住）

最近、ごみの収集の仕方がわかりにくくなった。地域でやっているものと区でやっているものをしっかり明記してほしい。（住）

（3）喫煙マナー

歩きたばこやごみのポイ捨てが非常に目立っている。通学路にも散乱しているので、密閉型の喫煙所を設置し、分煙対策を徹底すること。（陳23）

路上喫煙、歩きたばこ、自転車で乗りながらたばこを吸っている人を多く見かける。取締を強化して欲しい。（住、同様のご意見、1件）

路上喫煙禁止の強化。屋外喫煙場は困いがない場合、（錦糸町駅北口など）廃止にしてほしい。煙が多く、子どもが近づけない。（住）

時代とは逆行しているが、喫煙所の整備が必要だと思う。4月1日以降（灰皿の撤去以降）駅から自宅に帰る間に歩きたばこの人を見かける機会が増えた。以前はコンビニ横などでみかけた。また、歩きたばこの増加に伴い吸殻もポイ捨てしている人が多くなっていると思う。喫煙所設置には費用がかかるが、地域の風紀を守るためには必要な経費だと思う。（住）

One main point for me is the smoking violations in Sumida-ku. Every time we are out we experience people breaking the No smoking rule. Since there are no consequences for breaking this rule people continue to smoke wherever they want. -The government needs to create a no smoking patrol to make people not smoke in public places. Also adding more and bigger no smoking signs and bigger fines.（住）

（訳：自分にとっての一番気になるのは、墨田区での喫煙違反だ。外出するたびに、禁煙ルールに違反する人々に出会う。この規則に違反しても影響はないので、人々は好きな場所で喫煙をしている。区役所は、人々が公共の場所で喫煙しないようにするために、禁煙パトロールをする必要がある。また、禁煙の看板をどんどん増やし・大きくし、罰金をもっと高くした方がよい。）

9 教育

保育園入園申し込みに際して、雇用解雇とコロナの因果関係について客観的に証明できないため調整のしようがないなどと検討の対象外にすることなく、対策を今後検討してほしい。(手73)

保育園の内定は出ているが、保育園での新型コロナウイルス感染事例が相次いでおり、子どもへの感染リスクを考えると、現状は家庭で保育を行いたい。区から保育園への登園自粛要請を行う予定はあるのか。自粛要請が行われない場合、自主的に登園を控えようと思うが、その場合は退園となってしまうのか、他区では登園自粛要請期間を延長しているという話を聞くので、墨田区でも対応をお願いしたい。(手87)

保育園の点数に考慮される居住年数が、夫は区内で生まれ育ったものの、2年ほど区外に住んでいたことがあり、その場合居住年数がリセットされてしまうとのことだが、納得がいかない。(手88)

墨田区では保育園入園時の点数を付ける際、保育士以外の職業では点数を考慮してもらえないが、緊急事態宣言時でもテレワークができない職業に関しても点数の調整をできるように制度を整えてほしい。(手114)

自分と妻が新型コロナウイルスに感染し、認可保育園に通っている子どもは陰性ではあったが濃厚接触者に当たるとして、保健所の指示により、感染者観察期間の10日間と、濃厚接触者の観察期間の14日間登園しなかった。しかし、通っている園等に問い合わせたところ、その間の保育料は返還されないとのことだった。保健所の指示により休んだのだから、保育料の日割りでの返還を希望する。(手127)

7月9日付で、毎年実施されている移動教室についての通達があった。5年生対象のあわの移動教室は1泊2日で、6年生対象の日光移動教室は日帰りで実施するとのことだった。なぜあわのは1泊出来るのに、日光は日帰りなのか。最終学年である6年生の校外学習の優先を望む。(手80)

学校教育の一環であり、全ての子どもが給食費の心配をせずに安心して食べられるよう、給食費は無料にしてほしい。(陳21)

児童の多様化、学力の保障ということで、講師や支援員の配置を充実させ、また、その賃金労働条件をさらに改善すること。(陳23)

教員が本来の仕事ができるように給食関係事務や私費会計事務の改善を図ること。(陳23)

児童の学力向上に伴う、教育予算、施策予算を引き上げること。(陳23)

区ではないが学校の「選択」小学、中学をやめるべきだと思う。町会がばらばらになっている。(住)

小学生の子のいる親として、学童サービスの充実や、オンラインでの授業も検討してもらえると助かる。学童は弁当の配達も選択できるようにしてもらいたい。(住)

P T A活動をどうにかして欲しい。共働きにとっては、無理。やりたい人がやるべき。時代にあったやり方を考えてほしい。(住)

子どもが小さい頃は児童館や子育て支援センターをよく利用させてもらった。子の年齢が上がるにつれ利用する場所がなくなる。また小学校の支援員のような人をもっと増やし、子・先生の負担をへらした方がよいと思う。今は発達に差がある子が多いが、不登校児や発達障害など

で悩む親への助けが少ないため、結局行政の力だけでは足りないと感じている。
(住)

区民と区が協働で「すみだ」をつくる

10 スポーツ振興・生涯学習

錦糸公園の土のウォーキングコースがアスファルトのカラー舗装になってしまったが、土のウォーキングコースを舗装する計画であるなら、足に優しい舗装材にしてほしい。(陳14)
バスケットコートなど屋外でスポーツできる環境が多くなると嬉しい。(住、同様のご意見、1件)

利用料が1回200円とかで区民が使えるスポーツジムがあるとうれしい。(住)

学校の体育館等を活用した地域密着のスポーツクラブの充実等をすすめ、健康増進、および元気な高齢者の増加を図ってほしい。(住)

高齢者が多いので100歳時代にむけて生き生きと生活できる、文化、スポーツへの参加が必要でありその為の施設やコミュニティを作ってもらいたい。(住)

興味のある講座等は、向島方面が多いので、今住んでいる場所からは遠くて参加しづらい。近い所に、緑コミュニティセンターがあるので、そこで興味の湧く沢山の講座があると良い。(住)

60歳以上の方が学べる英会話、手話とか近くにあると生きがいに良いかもと思う。(住)

高齢化社会と言われる時代になって来てしまった。いつまでも迷惑をかけず過ごせることを願っている。色々と講座や運動が行なわれているが、抽選でなくみんなが参加出来る様になるといい。今後、残り少ない人生、毎日、楽しく、明るい生活が送れるように願っている。(住)

後期高齢者の年金暮しの者だが、情報が区のお知らせ「すみだ」と、町会の役員をしており、そちらからの情報だけなので、パソコン・スマホ等の教室が近くの施設にあったらと願っている。(住)

11 区政推進

(1) 広報広聴

墨田区のお知らせ「すみだ」9月21日号にPayPayポイント還元キャンペーンについての情報が掲載されているが、行政が発行する広報紙に特定企業の一事業を掲載するのは、中立・公平性を欠いているのではないか。また、電子決済や電子口座を不正利用される事件が相次いでいる中、区がキャッシュレス決済を推奨するようなものは掲載するべきではないのではないか。(手100)

墨田区のお知らせ「すみだ」の1月1日号の力士の笑顔の紙面はとても良かった。(手122)

墨田区のお知らせ「すみだ」3月11日号の1面の写真が素晴らしい。(手136)

毎号の「すみだ」お知らせは非常に充実していると思う。(住)

「墨田区のお知らせ」を電子化してほしい。完全になくすことは難しいが、紙ではないと困る

方もいるのと同様に、「紙が要らない」と、選択できる機会すらないから困る方もいるため、ぜひ検討してほしい。(住)

東京都の広報の用紙と、墨田区のお知らせの用紙の質がだいぶ違う。東京都の用紙は新聞と同様だと思う。経費削減になるので、新聞と同等で良いと思う。(住)

区政についての情報は、ほぼ入ってこない。もちろん、取りに行かないこちらにも問題はある。ホームページはかなり充実しており、取りに行けば、十分な情報は提供されている。特に、コロナ関連の情報は、プライバシーに配慮しつつも、感染拡大を抑止しようとの意思が感じられ、可能な限り、情報をオープンにしようとしている姿勢は高く評価できる。(住)

自宅にテレビはないが、ツイッターやwebでの情報収集ができるため、知りたい事があれば、自主的にそれを行う。なので、ワードによる検索などがとても簡単でわかりやすく、感謝している。イベントや地域活動など、これからもツイートを楽しみにしている。防災にも関心がある。(住)

区で行っている事業や施設について情報をあまり知らないが、利用できるものがあれば利用したいので情報発信をしてほしい。(住、同様のご意見、1件)

住み始めてまだ4カ月であり、コロナの影響もあってほとんど外に出ることもないので、全然墨田区のことを知らない。転入届の際に頂いたガイドブックがとても心強かったので、そのようなものがあればほしい。(住)

いろんな面白い事業や施策を、もっと知りたいのでこれから情報をキャッチしていこうと思った。なので、新聞やSNS等でたくさん発信してもらいたい。(住)

区民との距離をもっと近くする努力が必要だと思う。せっかく良いサービスがあっても、区民から探しにいかないと気がつかなかったりする。情報を得られない人が損する。(住)

紙ではなくWeb入力アンケートにしてほしい。(住、同様のご意見、3件)

住民意識調査を行うのは良いことだと思うが、全員が紙のアンケートで答える必要はないと思う。協力をお願いのハガキに“Web回答の場合はこちら”のようにURLを貼れば、空き時間にWeb回答する若者も増えると思う。紙の削減にもなると思うので検討してほしい。(住、同様のご意見、1件)

こうしたアンケート、区政の向上に有益だと思う。問題は、これをどのように活用しているのかだ、これまでのフィードバックに基づいて実施された施策への反映等について、明らかにしてもらえると回答へのインセンティブが増す。(住)

調査結果の公表に関して、高齢世帯、子育て世代、学生、単身労働者等の世代タイプにより生活パターンが大きく異なるため、是非世代ごとの集計を行い、世代タイプ別の特性や世代を越えた共通事項を整理してほしい。墨田区は本所区と向島区が合併した経緯からそれぞれの地域の個性があり、区民の生活に大きな影響を与えているものと思われ、是非世代タイプと地域の関係との分析をし、地域の良さと課題をあぶりだしてほしい。この調査結果を行政・住民・事業所が地域ごとに一堂に介してディスカッションできる機会を是非設けてほしい。(住)

今回、案内のハガキが届いて初めて、このようなことをやっていることを知った。ホームページは、用がないと見ないので、別の方法で報告書などが見られると良いと思う。(住)

本調査により区がどのような取り組みをしているのかあらためて知ることができた。区民に対し、もう少し様々な活動内容をPRしてもいいかと思う。(住)

(2) 行財政改革

国債で賄ったコロナ対策費の負担について、将来世代に先送りせず現世代で解決するよう議論を開始し、その上で「コロナ後」を見据えた本格的な税財政改革に取り組んでほしい。(陳 1 1)

民間企業等との提携。区役所窓口の土曜日開設。(住、同様のご意見、1 件)

区役所の利用時間が 17 : 00 まで (水曜は 19 : 00) で休日もやっていないので、必要な手続きがある場合、仕事終わりに行けない。時間をもう少し伸ばすか、休日も開くか、ほとんどの手続きをネットと郵送だけで出来るようにしてほしい。いくつかの手続きは郵送でできることには感謝している。(住、同様のご意見、2 件)

電子化の対応を早くして欲しい。(住、同様のご意見、1 件)

北斎美術館や刀剣博物館など美術館の充実は文化的に良いが、高齢者が多いので、高齢者が暮らし良いように高齢者対策に予算を行き渡るような行政を心がけてほしい。(住)

全ての事業が住民目線のものではなく、一人よがりの政策だ。実効性のあるものは税収が上がるもののみ。即時性に欠け、一年から二年遅れで整備されるものがほとんど。住民 (全年代) から腹を割って話を聞いてみてはどうか。(住)

超高齢社会での財政的制約のある中で、地域の公共サービスをどう維持していくか、行政だけでなく、区民、事業所がともに自らの地域のありようを考える時代に突入したのではないか。人口構成、財源を前提とした教育、介護、医療、文化振興等が連携したサービスの在り方、施設・機能の再配置、アクセス手段等を地域ごとにワークショップを行い、地域住民みずから町をどのようにマネジメントするか、住民が考える場を積極的に構築してもらいたい。(住)

高齢者が多いので 20 年後を見据えて今から対策施策が必要。(住)

(3) 人権同和・男女共同参画

L G B T の当事者は、企業の理解が進んでおらず、偏見や差別を受けることが多いため、L G B T への理解が進むよう周知啓発に取り組むとともに、L G B T に対する職場対応マニュアルなどの作成の支援策を検討すること。(陳 2 4)

L G B T をはじめとしたマイノリティへパートナーシップなどの支援をしてほしい。(住)

1 2 身近な区民サービス

特別定額給付金の申請開始が遅い。早くしてほしい。(手 4 5、4 6、5 0、5 8)

墨田区の特別定額給付金のオンライン申請受付はいつになるのか。速やかな給付対応をお願いする。(手 5 1)

区役所内の受付や窓口業務に関わる場所に手話通訳者の配置をしてほしい。また、受付や窓口業務に携わる人たちのスキルアップとして「手話資格手当制度」を導入し、「手話講習会」への参加を促進してほしい。(陳 1 0)

住民票の取得や印鑑登録など対面ではなく非対面のツールなどあればいいと思う。(住)

他自治体に住んだことがあるが、必要書類として住民票を取りに行った際、駅の近くに出張所

(市役所)があり不便を感じなかった。墨田区は、出張所や区役所に行くのに交通の便が良くない。主要駅の一つである錦糸町駅付近に出張所があれば良いと思う。目に見える区民へのサービスを望む。(住)

会議室やスポーツ施設等、区内施設のシステムがとても使いづらい。紙の無駄を強く感じる。(住)

選挙の期日前投票場所が区の施設だと交通の便が悪く利用しにくい。両国駅など主要駅前で行えるようにしてほしい。(住)

その他

1.3 職員の接遇等

新型コロナウイルス感染症流行のため収入が減り、納税が困難となったので、電話で延納について相談したところ、対応した職員の態度が冷たく威圧的だった。あまりに愛のない対応に悲しくなり、憤りを感じている。(手10)

閉庁間際に窓口課を訪れ、窓口受付時間終了間近に手続きが終わったため、子育て支援課での手続きは間に合わないと思っていたところ、窓口課の職員が気を利かせ子育て支援課に連絡をしてくれたお陰で、児童手当の手続きも一緒に済ませることができた。どちらの課の職員もとても丁寧かつテキパキ対応してくれたため、感謝している。(手42)

生活福祉課の職員の方々の対応に大変感謝している。(手55)

17時過ぎに区役所の反対側の通りを歩いていたところ、役所内の駐輪場で男性が転んでしまった。すると仕事終わりで庁舎から出てきた職員たちが次々と集まり、とても迅速かつ丁寧な対応をしていて感心した。業務外にもかかわらず素晴らしい対応してくれたことに区民として感謝する。(手74)

窓口課で手続きの際、親切で丁寧な対応をしてもらい、感謝している。(手77)

小さな子どもを連れて区役所に行った際、庁舎内階段で職員さんにベビーカー等の荷物を運ぶのを手伝ってもらい、大変感謝している。(手83)

テレビで区が行っている新型コロナウイルスに対する接種の取り組みが報道されたのを見て、他の区に先駆けてワクチン接種に向けて準備していることを知り、安堵した。区民のために働いてくれている区長をはじめ職員の方々に感謝している。(手125)

オリンピック・パラリンピック室の職員の方に優しく接してもらい、心が癒された。感謝している。(手132)

家族が在宅での介護サービスを親身になって世話をしてもらい、とても感謝している。(住)

安定した区政運営のお陰で、安心安全に生活することが出来ている。又4年前まで障害者と同居していたが、その折の行政からの支援に心から感謝している。(住)

転入届の手続きをした際に対応した窓口課職員の態度が酷かった。余分な手間や時間がかかった挙句、余計な事を言われ、非常に気分が悪かった。このようなことがないように対策をしてもらいたい。(手43)

公共サービスの向上並びに安全性確保のため、正規雇用職員の採用を拡大してほしい。また、業務委託化推進政策を見直し、業務の区直轄への転換を図ること。(陳23)

1.4 区民施設

たちばな高齢者サービスセンターは必要な施設なので、存続させてほしい。(手60、70、101、102)

曳舟文化センターの改修工事を行う際、太鼓等を使用できるように防音・防振工事を施してほしい。現在、区内に太鼓の練習場所が中々無く、困っている。そこで、防音・防振工事を施していただき、練習場所として使用できるようにしてほしい。(手71)

現在図書館で行われている本の団体貸出先について対象を広げ、希望するサロンや医療機関などにも本の団体貸出の対象を広げてほしい。スマートフォンやタブレットを使えない高齢者に対しても遠方の図書館に行かなくても近隣の外出先で様々な本に出合える機会を作してほしい。(陳21)

緑あふれる公園のような、中に休みの日に1日ゆっくりできるようなc a f eが入っているような図書館があると良い。(住)

区立のぞみの家は平成3年4月にオープンし、29年経過し、経年劣化による設備の不具合等も散見されるため、令和2年度から取り組む予定であった長期修繕計画を早急にかつ短時間で実施してもらいたい。(陳10)

のぞみの家の非常階段に手すりをつけてほしい。また、非常階段が踊り場の1段だけ高さが違うので、同じ高さに改修してほしい。(陳10)

区内の公共施設のトイレにはユニバーサルベッドが設置されているところが非常に少ない。今後まちづくりも含めたトイレを作るときには必ずユニバーサルベッドを設置してほしい。(陳10)

区民の健康不安解消のため、公共施設及び(民営を含む)児童施設などの放射線量測定結果の定期的な公表を継続すること。(陳24)

東京オリンピックのレガシーとして、体育施設を、車椅子スポーツでも利用できるようにして、車いすでの利用可能な施設をふやすこと。(陳24)

梅若地区の児童館、図書館等の施設の老朽化を改善してほしい。(住)

区内にある駅の近くに図書館や出張所が無いのが不便だ。商業やスポーツの施設が多いのは良いが、大きな図書館や気軽に入れる美術館など、芸術面にも力を入れてほしい。(住)

1.5 その他

すみだの力応援基金、または、すみだの夢応援基金などのように、ふるさと納税の制度を使った新型コロナウイルス対策応援基金をつくってほしい。(手56)

都立墨東病院を都立病院として存続させるように意見を東京都に伝えてほしい。(陳21)

区報やホームページなど広報媒体を活用し、公職選挙の投票の意義を周知するとともに、ショッピングセンターや駅周辺の投票所などを今以上に増やし、期日前投票の利便性の向上を図る

など、投票率向上を進めてほしい。(陳24)

区民が安心して住めるまちづくりを引き続き行ってほしい。(住)

墨田区は静かで落ち着いていながら下町のあたたかみも感じられるよい区だと思う。(住)

魅力のあるところだと思うが、上手く活用されていない気がする。防災上問題があるが、らしさを感じる街並とかを上手に活かす(補助金を出すなど) 気持ち的には誇れる、自慢出来る街。(住)

地域のコミュニティ内の結び付きは強く感じるが、来た者にとってはそこに入る事へのハードルの高さを感じてしまう。もっと気楽に地域の色々な年代との交流ができるといいと感じる。(住)

幼少期より消防団に入ったり、ボランティアに参加をしたり、夏のお祭りや清掃活動など墨田区内での活動をしている方だし、暮らしやすいと思っている。もっと住んでいる人達に関われる機会があると嬉しい。お祭りも人手不足だ。若い人達が自分の住んでいる墨田区にもっと興味を持ったり、おもしろみを感じてもらえるような企画や情報発信をお願いしたい。(住)

住んでいる近くに病院(各科)が少なく、増えたら良いと思うが、既存の病院の口コミが悪いものが多く、人手が足りないのか、行く人の心がせまいのか不安になる。(住)

墨田区はずっと住み続けて愛着もあり、できれば生涯住み続けていたいと考えているが、一人で、また家庭を養って住むには家賃が高く、いずれは郊外に移り住むことになると思う。しかし、自分の故郷なので、どんな形でも墨田区のために何かできることがあればと考えている。(住)

区独自のナンバープレートをつくってもらいたい。(住)

正直、何をメインに行っているのかがわかりにくい。40歳以下の人に区からのサービスがほとんど無く、墨田区のために何かしようと思えない。高齢者ばかり対応・サービスを手厚くするのは、今後若い人たちは納得できなくなる。(住)

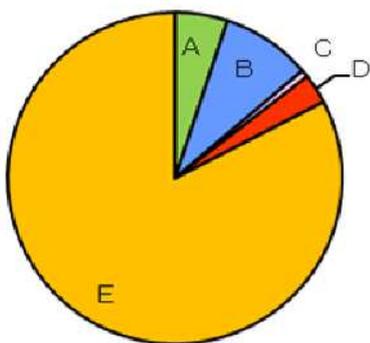
[資料編]

1 区民の声の傾向

(1) 広聴活動別件数

区民の声（広聴カードA）として集約した意見等は全部で138件。

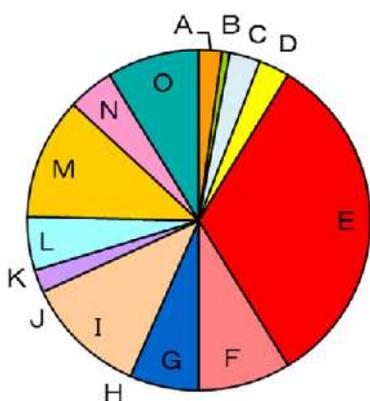
インターネットが区民に身近な手段として定着していることから、ホームページからのご意見・ご要望が114通で、全体の82.6%となっている。



		件数	割合
A	広聴電話	7	5.1%
B	区長への手紙	12	8.7%
C	来訪	1	0.7%
D	メール	4	2.9%
E	ホームページ	114	82.6%
F	その他	0	0.0%
合 計		138	100%

(2) ご意見（広聴カードA）の内容の大分類別件数

区民の声のご意見の内容の大分類別件数を多い順に見ると、危機管理（45件）、教育（16件）、職員の待遇等（16件）となっている。



		件数	割合
A	文化観光	3	2.2%
B	まちづくり	1	0.7%
C	土木	4	2.9%
D	産業経済	4	2.9%
E	危機管理	45	32.6%
F	福祉	12	8.7%
G	保健衛生	9	6.5%
H	環境	0	0.0%
I	教育	16	11.6%
J	スポーツ振興・生涯学習	0	0.0%
K	区政推進	3	2.2%
L	身近な区民サービス	7	5.1%
M	職員の待遇等	16	11.6%
N	区民施設	6	4.3%
O	その他	12	8.7%
合 計		138	100%

2 広聴活動の概要

(1) 区長への手紙

区民から、日常生活の中での身近な問題や区政に対する意見・提案などが、手紙や電話をはじめ様々な手段で区長あてに寄せられる。これらを広報広聴担当の事務処理上、「区長への手紙」と総称している。この「区長への手紙」は広報広聴担当で受け、区長まで供覧するとともに、所管課に配付している。所管課は、迅速に対応し、その結果を通報者に回答している（「広聴カードA」による処理）。

また、各所管課が直接受けた区民の意見・提案等のうち、区政に反映すべきと判断されるものについては、広報広聴担当を通じて区長に報告している（「広聴カードB」による処理）。

広聴カードで対応した意見・提案の中で特に重要な項目については、部長会や広報広聴連絡総合調整課長会議等で報告するほか、広く区民に周知したほうが良いと思われる意見・提案については「墨田区のお知らせ」の「みんなのこえ」欄やホームページで紹介している。

令和2年度は、「広聴カードA」により対応したものが138件、「広聴カードB」により所管課から報告があったものが0件であった。

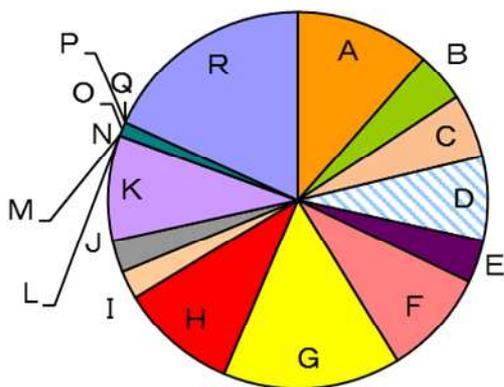
なお、「広聴はがき」は、主な区立施設の広報スタンドに備えてある。

5年間の推移（広聴カードA・広聴カードB）

	2年度	元年度	30年度	29年度	28年度
件数	138	141	115	341	385

令和2年度集計表

所管部別内訳



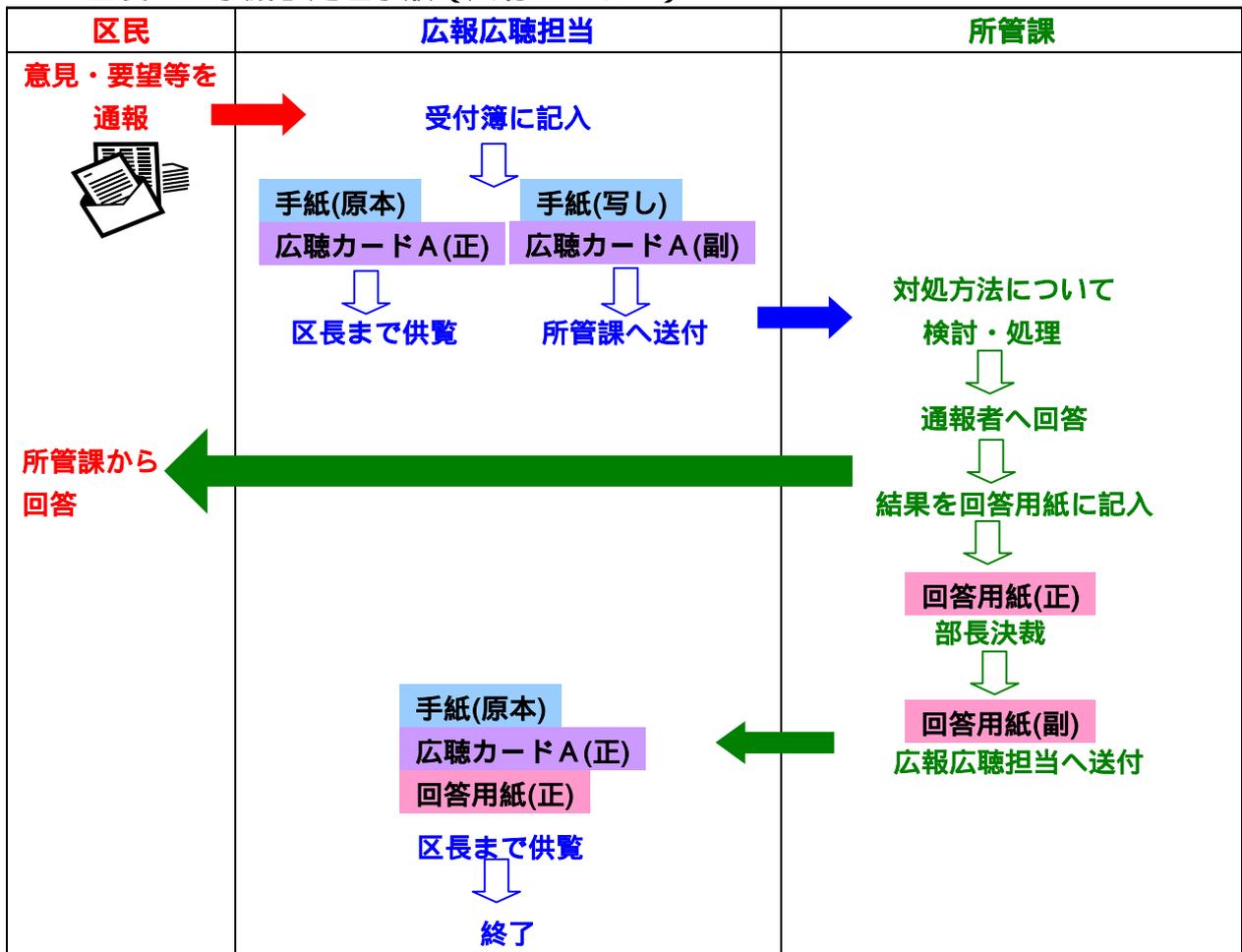
1件に対して複数所管が対応の場合を含む

広聴カード処理手順

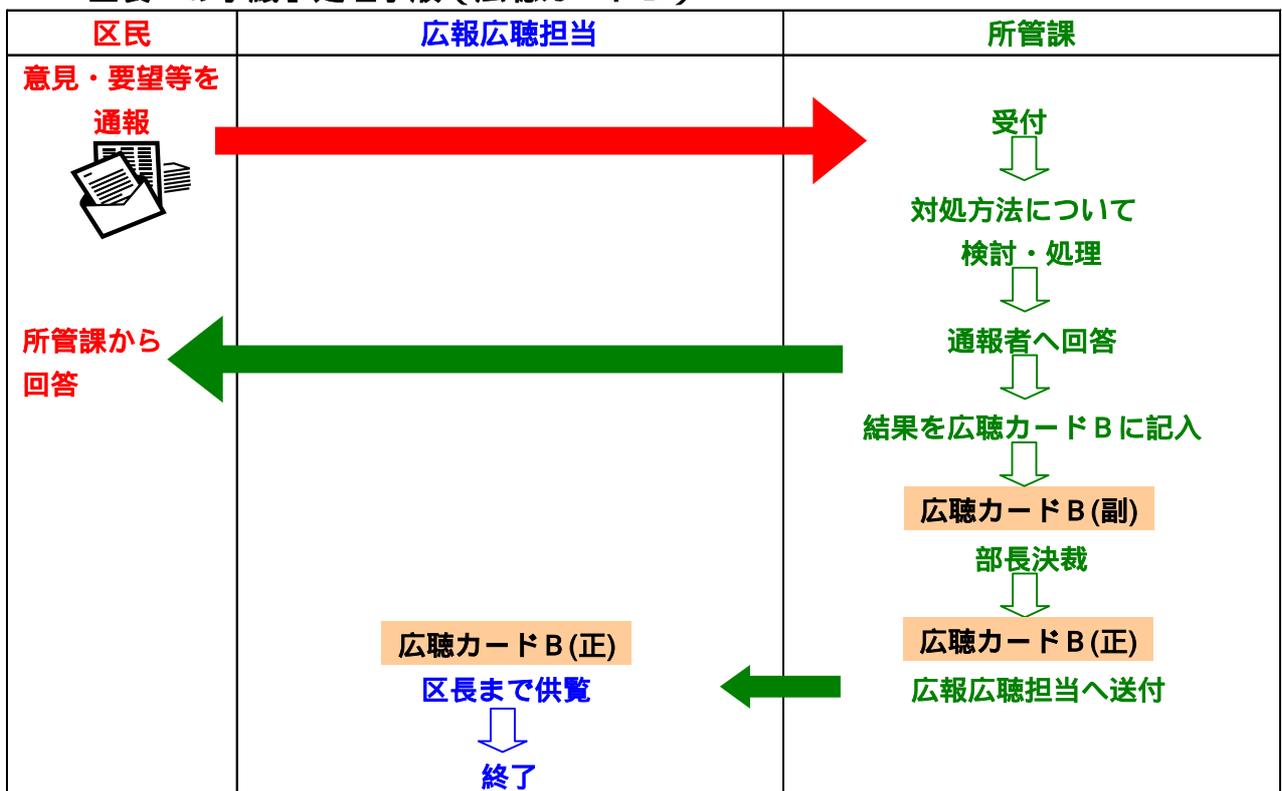
別紙のとおり

	所管部	件数	割合
A	企画経営室	38	11.5%
B	総務部	14	4.2%
C	区民部	18	5.5%
D	地域力支援部	24	7.3%
E	産業観光部	12	3.6%
F	福祉保健部	30	9.1%
G	子ども・子育て支援担当	50	15.5%
H	保健衛生担当	33	10.0%
I	都市計画部	8	2.4%
J	危機管理担当	9	2.7%
K	都市整備部	30	9.1%
L	環境担当	0	0.0%
M	立体化推進担当	0	0.0%
N	会計管理室	0	0.0%
O	区議会事務局	4	1.2%
P	選挙管理委員会事務局	0	0.0%
Q	監査委員事務局	0	0.0%
R	教育委員会事務局	60	18.2%
	合計	330	100.0%

「区長への手紙」処理手順（広聴カードA）



「区長への手紙」処理手順（広聴カードB）



(2) 請願・陳情

区長宛てに提出され、各課で收受した請願・陳情等は広報広聴担当を経由した後、区長まで供覧するとともに、広報広聴担当では、件名ごとに調書を備え、対応の経過を明らかにしている。

令和2年度に各団体及び個人から提出された請願・陳情等は次のとおりで、総件数は24件である。

受理所管別請願・陳情等実績

所管部	件数	担当課別内訳
企画経営室	7	広報広聴担当(7)
総務部	0	
区民部	2	税務課(2)
地域力支援部	0	
産業観光部	1	産業経済課(1)
福祉保健部	5	障害者福祉課(2)、高齢者福祉課(3)
保健衛生担当	3	保健計画課(2)、保健予防課(1)
子ども・子育て支援部	0	
都市計画部	2	建築指導課(1)、防災まちづくり課(1)
危機管理担当	0	
都市整備部	4	都市整備課(1)、道路公園課(3)
環境担当	0	
立体化推進担当	0	
会計管理室	0	
教育委員会	0	
合計	24	

(参考)

2年度	元年度	30年度
24件	20件	38件

(3) 中学生区議会

未来の墨田区を担う子どもたちに議会制度を実体験させることにより、郷土に対する愛着心、関心を深めてもらうとともに、区政への提案・意見等を聴取し区政の参考とするため、平成6年度から実施している。令和2年度は、「福祉」「まちづくり・防災・環境」「地域力」をテーマに、「第27回中学生区議会」を実施した。なお、名称は、平成12年度まで「子ども区議会」であったが、平成13年度から「中学生区議会」と改めた。

概要

日 時	令和2年12月14日(月)午後2時～4時30分
場 所	墨田区議会議事堂 本会議場及び委員会室(第一、第二、第三)
テ ー マ	すみだの「福祉」「まちづくり・防災・環境」「地域力」
中学生議員	区立10中学校の代表生徒20名
区側出席者	区長、副区長、教育長、各部長
区議会議員	議長、副議長、議会運営委員会委員

(4) 住民意識調査

墨田区が行政を進めるうえで行政の各分野における区民の意向・要望等を把握し、今後の施策に反映させるための参考資料とするため、隔年で実施している。

令和2年度は実施年にあたるため、第26回墨田区住民意識調査を実施した。

概要

1 調査内容

定住性、生活環境評価、区政全般、シティプロモーション、地域力の育成・支援、防災対策、防犯対策、公衆トイレ、区政情報、生涯学習、スポーツ・運動、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、環境・リサイクル・清掃、福祉、産業、自由意見

2 調査設計

- (1) 調査地域 墨田区全域
- (2) 調査対象 墨田区在住の満18歳以上の個人（外国籍を含む）
- (3) 標本数 3,000サンプル
- (4) 抽出方法 層化無作為抽出法
- (5) 調査時期 令和2年7月20日（月）～8月5日（水）
- (6) 調査機関 株式会社エスピー研
- (7) 地域分類 調査結果の集計にあたっては、墨田区を8ブロックに区分した。

3 回収結果

- (1) 標本数 3,000件（100.0%）
- (2) 有効回収数（率） 1,687件（56.2%）
- (3) 回収不能数（率） 1,313件（43.8%）

4 調査結果

調査結果は冊子にし、広報広聴担当、区民情報コーナー、図書館で閲覧できるようにしているほか、職員に周知するため各部に配付している。

また、調査にご協力いただいた方に配布するため、調査結果の概要版「墨田区の世論2020」を作成した。

なお、区民へ広く情報提供するため、区公式ホームページに概要を掲載している。

(5) 区民相談

区民の日常生活における問題や悩みごとについて解決を図るために、区民相談室を設け、専門の相談員が相談に応じている。

相談事業一覧表

相談	内容	実施日	時間	実施機関
区民相談	日常生活の一般的な相談	毎週月～金曜日	午前9時～午後5時	広報広聴担当
法律・人権相談	相続・離婚・不動産などの法律問題及び人権問題	毎週月・水・金	午前10時～11時半 午後1時～4時	広報広聴担当 人権同和・男女共同参画課
外国人相談 (中国語)	外国人の日常生活の悩みごと	毎週水曜日	午前10時～正午	広報広聴担当
外国人相談 (英語)	外国人の日常生活の悩みごと	毎週水曜日	午後1時～3時	
行政相談	国や公社、公団などへの苦情	毎月第1・3火	午後1時～4時	総務省東京行政評価事務所
更生保護相談	更生保護・非行などの悩みごと	毎月第4火曜日	午前10時～午後4時	東京保護観察所
くらしと事業の 手続相談	遺言・相続・離婚などの書類作成、相談	毎週火曜日	午後1時～4時	東京都行政書士会 墨田支部
不動産一般相談	不動産取引一般について	毎週金曜日	午後1時～3時	東京都宅地建物取引業協会 墨田区支部
交通事故相談	交通事故のトラブルについて	毎週月～金曜日	午前9時～午後4時	東京交通安全協会
法律(登記等)相談	不動産や会社の登記等について	毎週木曜日	午後2時～4時	東京司法書士会 墨田・江東支部
税務相談	税金に関すること	毎月第2・4木	午後1時～4時	東京税理士会 本所支部・向島支部
年金・労務相談	社会保険労務士による相談 各種年金、労務管理等に関する こと	毎月第1・3水	午後1時～4時半	東京都社会保険 労務士会墨田支部

実施日、時間は令和2年度の実施状況

事業内容及び実績

区民（身の上）相談

日常抱える問題や悩みごとについての相談に応じている。相談形態としては、面接と電話がある。

（令和2年度実績）

（単位：件）

相 談 内 容							計
土地建物	相続	金 銭	戸 籍	身 上	労 働	そ の 他	
288	475	102	15	6	37	2335	3258

法律・人権相談

動産・不動産などの財産関係、金銭の貸借関係、親族関係など生活上の様々な法律問題について、弁護士が相談に応じている。

（実績）

（単位：件）

相 談 内 容	令和2年度	令和元年度	平成30年度
土地・建物	57	60	66
借地・借家	95	145	120
金銭	80	80	124
サラ金・クレジット	10	19	21
相続	150	182	189
結婚・離婚	92	138	145
親子（養子・扶養）・家族	35	38	58
戸籍	2	1	2
労働	27	13	21
相隣	29	39	36
損害賠償	59	74	68
商事・会社	18	15	17
刑事	11	13	9
環境	1	1	2
人権	5	2	2
その他	75	61	65
合計	746	881	945

人権相談は、国民の基本的な人権を守り、自由人権思想の普及を図るため、法務大臣から委嘱された人権擁護委員が相談に応じている。なお、墨田区では、人権をめぐる問題については法律的な解決を求めることが多いことから、区の法律相談員を人権擁護委員として推薦している。

外国人相談

外国人を対象に、中国語・英語による相談に応じている。

（令和2年度実績）

・中国語： 19件 ・英語： 5件

その他の専門相談

(令和2年度実績)

行政相談	6件	更生保護相談	16件
くらし手続相談	144件	不動産一般相談	81件
交通事故相談	665件	法律(登記等)相談	180件
税務相談	74件	年金労務相談	70件

(6) ホームページ

開かれた区政を実現するため、区政全般の情報を提供するとともに、区政に対する意見・提案・要望等ホームページを通じて収集している。意見等の取り扱いについては、区長への手紙と同様にしている。

平成17年度は、区ホームページの統一化とWEBアクセシビリティへの配慮を目的として、CMSを導入し、全面リニューアルを行った。

平成22年度は、外国語による情報発信を推進するため、区のホームページを、英語、中国語、ハングルに自動翻訳するサービスを導入した。

平成27年度は、区ホームページをさらに「誰もが使いやすい」「情報が探しやすい」「伝わる」ホームページにするため、リニューアルを行った。

令和2年度は、様々な端末での閲覧に適した「レスポンスデザイン」の導入や、全ページの常時SSL通信化等、各種改善をするためにリニューアルを実施した。

開設日

平成12年7月25日

リニューアル

平成17年6月1日、平成27年10月1日、令和2年9月29日